

率はそれぞれ30%、50%に留まっているおり、住民は不衛生な水を利用し、下痢症やコレラ等の水因性疾患が蔓延する原因となっている。また、両州ともに旱魃、砂漠化の脅威にさらされており、乾季には手掘りの浅井戸は枯れるため、村民は遠くまで水汲みにいかなければならず、安全な水の供給は緊急の課題である。

我が国は、実施中の無償資金協力「バウチ州およびカツィナ州地方給水機材整備計画」にて両州での井戸掘削に必要となる資機材の供与をとおして地方給水・衛生サービスへのアクセスの改善を図っている。同案件の実施による効果を最大化するためには、資機材を活用した工事の実施に加えて、施設を利用する住民等の施設の運営維持管理にかかる知識やスキル、また、州の地方給水公社関係者等のコミュニティに対する指導能力の強化が必要となっている。かかる状況の下、ナイジェリア政府は我が国に対し、研修事業の実施による州政府水供給事業従事者（バウチ州地方給水公社（RUWASSA）、カツィナ州水・衛生プロジェクト（WATSANプロジェクト※））、地方自治体、およびコミュニティ関係者の能力強化を要請し、日ナ双方関係者による検討の協議の結果、2011年3月14日に実施にかかるR/Dが署名された。

※WATSANプロジェクトは、UNICEFが州レベルで地方給水事業を実施するために設立した組織であり、能力強化の後に順次各州の地方給水公社に組織変更されて活動を継続している。

- 上位目標 : バウチ州およびカツィナ州にて、建設された地方給水施設が適切に維持管理される。
- プロジェクト目標 : バウチ州・カツィナ州にて地方給水・衛生サービス供給に従事するの関係者の給水施設の運営維持管理にかかる能力が強化される。
- 成果 : 1) バウチ州RUWASSA、カツィナ州WATSANプロジェクト、ならびに地方自治体の給水事業担当者が、施設を利用するコミュニティに対する給水・衛生改善にかかる指導能力を習得する。
2) 無償資金協力「バウチ州およびカツィナ州地方給水機材整備計画」にて施設建設の対象となる村落にて設置される水・衛生委員会の関係者が以下の点について理解する。
a. コミュニティ・レベルでの給水・衛生改善活動に必要な基本知識・方法・スキル
b. 建設された施設にかかるコミュニティのオーナーシップに関する考え方
c. 建設されたハンドポンプの修理・メンテナンスに関する技術
- 活動 : 【第一年次】
バウチ州RUWASSA、カツィナ州WATSANプロジェクト、および地方自治体の給水事業担当者に対して、井戸の建設、維持管理および改修、ハンドポンプの設置および維持管理、衛生改善、住民の組織化にかかる研修を実施する。
なお、研修コースは連邦水資源研修所で実施し、コースカリキュラムの活用や講師の登用など、現在実施中の技術協力「連邦水資源研修所強化プロジェクト」との連携を図る。

【第二年次・第三年次】
第一年次にて研修に参加した関係者を講師として、上述無償資金協力における施設建設対象コミュニティに対して、コミュニティの水衛生委員会の設立と役割、井戸にかかる基礎知識、ハンドポンプの維持管理・修理、水因性疾病の予防、衛生改善活動の推進、住民の組織化等にかかる研修を実施する。
- 投入
- 日本側投入 : 研修に必要な経費
- 相手国側投入 : 研修講師および実施に必要なカウンターパート職員の配置
- 外部条件 : 特になし
- 実施体制
- (1)現地実施体制 : ナイジェリア連邦水資源省と契約の上、現地国内研修を実施する。
- (2)国内支援体制 : 特になし
- 関連する援助活動
- (1)我が国の援助活動 : 1) 無償資金協力「バウチ州およびカツィナ州地方給水機材整備計画」
2) 技術協力プロジェクト「連邦水資源研修所強化プロジェクト」
- (2)他ドナー等の援助活動 : UNICEF、EUなどが地方給水にかかるプロジェクトを多数実施している。

▼ レファレンスプロジェクト

フラグ :
コメント :

各文書へのリンク  [R/D\(外部公開\)2011/05/09](#)

- [先頭へ戻る](#) -